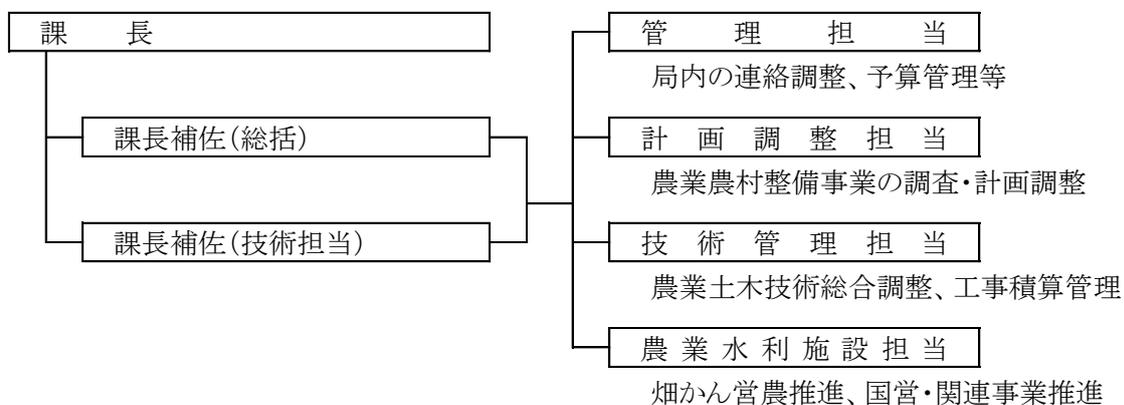


# 農 村 計 画 課

## 1 令和8年度の新規・重点事業

- **基盤整備プランニング事業** **2,500 千円【計画調整担当】**  
農地集積・集約の合意形成に必要となる基盤整備図面等を作成する。
- **農業土木の魅力発進・人材確保事業** **1,991 千円【技術管理担当】**  
県内で活躍する官・民を含めた農業土木技術者の人材を確保する。
- **畑かん営農ポテンシャル向上事業** **1,816 千円【農業水利施設担当】**  
畑かん営農における省力化技術を進歩させるとともに、畑かん営農による新たな付加価値を創出する。
- **畑かん営農で進める産地力強化事業** **5,919 千円【農業水利施設担当】**  
大規模経営体を中心に、畑かん利用面積の拡大を図るとともに、畑かん営農の効果を契約農家等に波及させることにより産地力を強化する。

## 2 組織



## 3 主な事業一覧

事業名	終期	R8 予算額 (千円)	担当	掲載 P
基盤整備プランニング事業	R8	2,500	計画調整	80
農業土木の魅力発信・人材確保事業	R8	1,991	技術管理	81
畑かん営農ポテンシャル向上事業	R8	1,816	農業水利施設	82
畑かん営農で進める産地力強化事業	R9	5,919	農業水利施設	83

# 基盤整備プランニング事業

農村計画課 2,500千円  
【財源:中山間ふるさと保全基金、一般財源】

## 事業の目的

整備後のイメージ図作成等を支援することで、基盤整備事業の機運醸成および実施につなげ、農地の区画拡大を通じた集積・集約化による地域計画の実現を目指す。

## 事業の概要

### (1) 事業内容

- ① 基盤整備図面作成  
基盤整備の推進に向けたイメージ図を作成
- ② 基盤整備推進マニュアル作成  
基盤整備の効果や対象事業の内容を整理し、推進マニュアルを作成



### (2) 事業の仕組み

- ①②県委託 県土改連

### (3) 成果指標

地域計画策定を契機に、基盤整備の推進に取り組むモデル地区数  
現状（令和4年度） → 令和8年度 モデル44地区

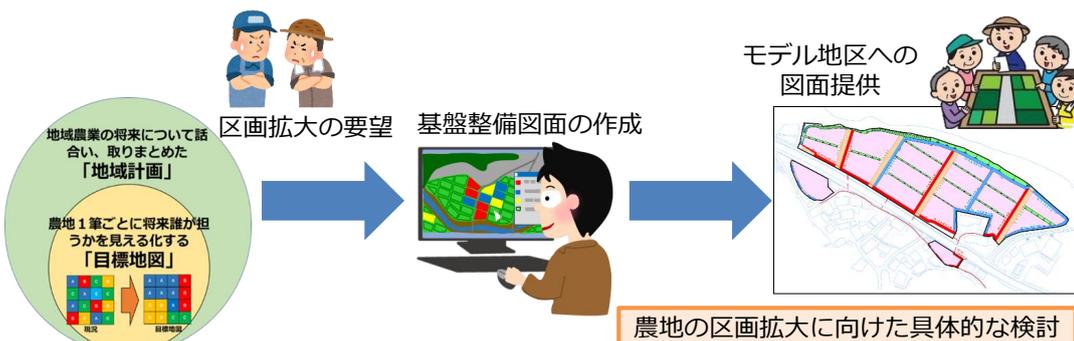
## 事業の期間

令和6年度～令和8年度

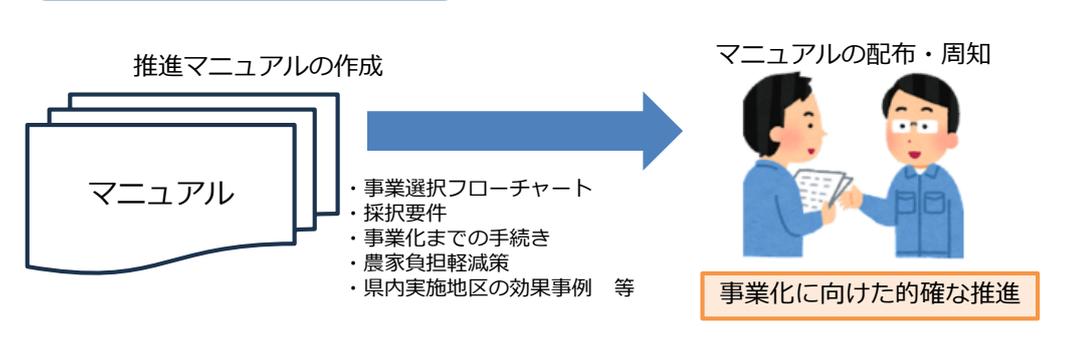
## 【別紙】

# 基盤整備プランニング事業

### ① 基盤整備図面作成



### ② 基盤整備推進マニュアル作成



基盤整備事業の実施

農地集積・集約化

地域計画の実現

モデル地区の事例を  
他地域へ展開

# 農業土木の魅力発信・人材確保事業

農村計画課 1,991千円  
【財源：一般財源】

## 事業の目的

近年の「激甚化している自然災害時の農地や農業用施設等の復旧・復興」や「スマート農業に対応した農業生産基盤の整備等」を担う、県内で活躍する官・民を含めた農業土木技術者の人材を確保する。

## 事業の概要

### (1) 事業内容

- ① 人材確保に係る広報活動  
農業土木分野を学ぶ県内の高校及び九州管内の大学への広報活動
- ② 体験型魅力発信活動（拡充）
  - ・小中高および大学における学外研修（県内の現場研修）への助成(借上げバス等)
  - ・県内の小中高生を対象に、農業土木分野の魅力発信を主とした「官民共催」のイベント等の実施
- ③ 農業土木分野の職種紹介のための啓発活動  
県内の農業土木技術者の協力のもと、パンフレットやポスター、啓発動画等を制作し、農業土木分野の普及活動に活用

### (2) 事業の仕組み

①②県 ③県 → 委託 → 民間企業

### (3) 成果指標

農業土木技術者のイメージアップ（アンケート）	令和5年度	—	→	令和8年度	70%以上
県内就職希望者アップ（農業高校（農業土木））	令和5年度	—	→	令和8年度	70%以上

## 事業の期間

令和6年度～令和8年度

## 【別紙】

# 農業土木の魅力発信・人材確保事業



### ① 人材確保に係る広報活動

- ・高校及び大学へ、社会における農業土木分野の役割や意義について広報活動を実施

### ② 体験型魅力発信活動（拡充）

- ・県内の小中高生を対象に、農業土木分野の魅力発信を主とした「官民共催」の測量体験や現場見学会等のイベントを実施

### ③ 農業土木分野の職種紹介のための啓発活動

- ・パンフレットやポスター、啓発動画等を制作し、農業土木分野の普及活動に活用

# 畑かん営農ポテンシャル向上事業

農村計画課 1,816千円  
【財源:中山間ふるさと保全基金】

## 事業の目的

加工・業務用野菜等の生産の安定化を図るため、畑かん営農に必要となる散水器具の設置・撤去や給水栓の開閉作業等に係る省力化技術を進歩させるとともに、畑かん営農による新たな付加価値を創出する。

## 事業の概要

### (1) 事業内容

- ① 散水省力化技術構築事業  
民間企業（散水器具メーカー、コンサル企業等）との連携によるスプリンクラー設置・撤去や給水栓開閉に係る労力削減技術の構築
- ② 散水省力化技術推進事業  
散水チューブ巻取機等の貸出しによる体験機会の創出
- ③ 畑かん水付加価値創出事業  
畑かん水の成分や散水後の土壌状態を調査・分析し、農作物や栽培管理に与える影響との関連性を検証することにより、畑かん水の新たな付加価値を創出



### (2) 事業の仕組み

- ① 県委託 → 民間企業      ②③ 県

### (3) 成果指標

散水省力化技術導入戸数      現状（令和4年）2戸 → 令和8年 14戸

## 事業の期間

令和6年度～令和8年度

# 【別紙】 畑かん営農ポテンシャル向上事業

## ① 散水省力化技術構築事業

官民連携による省力化技術の構築



技術の実用化

## ② 散水省力化技術推進事業

省力型散水器具の体験機会の創出



利用者の増加

## ③ 畑かん水付加価値創出事業



- 土壌分析
- 植物体分析
- 農作物分析

### 【見込まれる効果】

- ・病害虫抵抗性
- ・肥料成分の補足
- ・野菜内部品質向上

新たな価値創出

畑かん営農拡大による加工業務用野菜産地の確立

# 畑かん営農で進める産地力強化事業

農村計画課 5,919千円  
【財源：中山間ふるさと保全基金、一般財源】

## 事業の目的

地域の営農状況を見える化して大規模経営体への農地集積・集約を促進することにより畑かん利用面積の拡大を図るとともに、畑かん営農の効果を契約農家等に波及させることにより産地力を強化する。

## 事業の概要

### (1) 事業内容

- 大規模経営体を核とした畑かん活用促進
  - ア 地域営農状況の見える化（委託）  
衛星データ等を利用して各農地の作付品目を明らかにし、畑かん利用状況等の農地情報と合わせて地域の営農状況の分析を行い、その結果を地域の話合いの場で活用することにより大規模経営体への農地集積・集約を促進
  - イ 契約農家等への波及促進  
大規模経営体（畑かんマイスター等）の畑かん利用面積拡大に係る取組や周辺の契約農家等に畑かん利用を促進するための散水技術研修会等を実施



### (2) 事業の仕組み

- 県、県 民間企業等

### (3) 成果指標

- ・畑かん関係市町における農地集積率（畑） 現状（令和5年）69.6% → 令和9年度末 80%
- ・散水器具導入農地面積 現状（令和5年）14.8ha/年 → 令和9年度 20.0ha/年

## 事業の期間

令和7年度～令和9年度

## 【別紙】

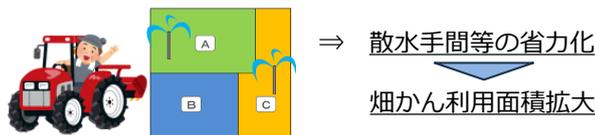
# 畑かん営農で進める産地力強化事業

## 大規模経営体を核とした畑かん活用促進

### (ア) 地域営農状況の見える化



### 大規模経営体への農地集積・集約



### (イ) 契約農家等への波及促進



畑かん水活用で出荷量安定化・信頼性向上

使う面積を拡大  
使う人を増加

産地力の強化

